

# 中 間 提 言

平成16年 3 月30日

岩見沢市入札等監理委員会

## 入札等監理委員会 中間提言

我々、岩見沢市入札等監理委員会は、3回の委員会の議論を経て、岩見沢市の入札に関して、以下のとおり中間提言を取りまとめた。

### 1 談合について

談合については、データを検証した結果、認められない。

### 2 入札に関する統計的な処理の継続

金額別の工事件数の分布や平均落札率、工種による市内市外の落札比、工種別の落札率などのデータの分析について、平成15年度工事に関して行ったが、今後も継続して行い、入札の状況の把握を行っていくべきである。

### 3 入札情報の公開

入札の公明正大性を表現する一つの方向性として、入札の結果等の情報を、市のホームページ上からダウンロードできるような体制作りをしていくべきである。

#### 4 市内業者の競争力の向上

市内業者の技術力、競争力を高める何らかの手段を講じるべきであり、その一環として、ITスキルなどの調査をしていくべきである。

#### 5 電子入札の推進

談合防止のため、電子入札の件数を増やすような工夫をするべきであるとともに、現在の電子入札の方式についても、検討をしていくべきである。

#### 6 GIS（地理情報システム）の活用

市民サービス、市役所内部での利用の点も含めて、GISの活用を図っていくべきである。

#### 7 入札改善案

岩見沢市の経済の活性化は重要な命題ではあるが、入札において、市内業者に対する特別な配慮は基本的にはするべきではない。ただし、平成16年度の入札改善案については、やむを得ない措置である。

## 8 アンケート調査の実施

岩見沢市内の業者が、公共工事の受注や、岩見沢市の入札について、現状をどのように考え、今後どういう方向性で取り組んでいけばよいと考えているのか、ということ把握するため、アンケート調査を実施したい。

平成16年 3 月30日

岩見沢市入札等監理委員会

委員長 青 山 哲 夫